

宝塚市地域福祉計画

(第3期)

すべての人が互いを認め合い、支え合い、
共に輝きつづける 安心と活力のまち 宝塚



宝 塚 市

はじめに



地域福祉とは、すべての人が個人としての尊厳をもって、家庭や地域の中で、その人らしく自立し、安心して暮らし続けることができるよう、様々な主体が協働して生活課題の解決などを行い、地域社会を持続させていく取組です。

一口に生活課題と言っても、現代の社会構造の変化やライフスタイルの多様化などを背景に、その内容は多種多様となり、これまでの仕組みでは解決できないものがより顕在化してきました。

不安や悩みを抱える人を支えていくためには、地域住民、行政、福祉事業関係者などが、手と手を取り合い、力を合わせて、協働で取り組んでいくことがますます必要となっています。

本計画策定に向けた協議は、まさに、新型コロナウイルス感染症が流行し、兵庫県に初めて緊急事態宣言が発令された時期に始まりました。誰も経験したことのない感染症により、地域のお祭り、サロンや児童館での集いなど、様々な活動の停止が余儀なくされ、日常生活は急激に変化しました。

しかし、その中においても、通信技術を活用して、離れていてもつながることができる手法を模索するなど、新たな取組も始まりました。地域のつながりを切らさないよう試行錯誤される様子から、市民の皆様の熱い思いや底力を実感しています。

宝塚市には、自分の家族を想うように、隣近所の皆さんや地域の皆さんのことに心を配り、日々、見守り・支え合っている人たちが大勢いることに、大きな希望と勇気をいただいています。

このたびの宝塚市地域福祉計画（第3期）では、地域ごとのまちづくり計画の福祉部分などの実現を支援する「多文化・共生型の地域づくり」と、行政・専門機関が横断的な連携を進める「包括的な相談支援体制づくり」の2つの基本目標を掲げています。

計画期間は5年間です。市民の皆様や関係機関と連携・協働して取組を進めた5年後、宝塚市がどのようなまちになっているのか、とても楽しみです。優しく、力強く、素敵な市民の皆様とともに歩みを進め、「すべての人が互いを認め合い、支え合い、共に輝きつづける、安心と活力のまち 宝塚」を築いてまいります。

最後に、本計画策定にあたり関わっていただきました多くの皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともより一層ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年（2021年）6月

宝塚市長 山崎晴忠

目 次

第1章 地域福祉計画の策定にあたって	1
1. 地域福祉計画とは	1
2. 計画策定の背景と趣旨	2
3. 計画の位置づけ	3
4. 計画の期間	4
5. 計画の策定体制	5
第2章 地域福祉を取り巻く現状と課題	9
1. 人口と世帯などの状況	9
2. 地域における団体などの活動の状況	15
3. 地域における社会問題の状況	21
4. 市民の意識（市民アンケート調査結果の概要）	25
5. 活動者の意識（福祉活動者調査結果の概要）	28
6. 宝塚市地域福祉計画（第2期）の総括・評価	30
7. 地域福祉に関する課題と方向	33
第3章 めざす方向	37
1. 基本理念	37
2. 計画推進の基本的な視点	38
3. 基本目標	41
4. 施策体系	42
第4章 地域福祉施策の展開	43
1. 社会的包摂の推進	43
2. 多様な居場所・拠点づくり	45
3. 誰もが活躍できる機会づくり	47
4. 次世代の育成と子育て支援	49
5. 課題解決に向けた多様な主体のつながりの構築・強化	51
6. 見守り・支え合いの促進	53
7. 総合相談支援体制の構築・強化	55
8. 権利擁護支援の強化	59
第5章 計画の推進	61
1. 計画の推進体制	61
2. 本計画における重点的な取組	62
3. つながりをつなぐための取組について	63

資料編.....	64
1. 計画の策定経過.....	64
2. 執行機関の附属機関設置に関する条例.....	65
3. 宝塚市社会福祉審議会規則.....	66
4. 宝塚市地域福祉推進検討会設置要綱.....	69
5. 宝塚市社会福祉審議会委員名簿.....	71